



新年度はドキドキとワクワクの繰り返し

4月から教育長という大役を拝命してから、こんなにも緊張する出来事が続くかと驚いています。就任式・入学式・入園式・各種地域団体の総会・市町村教育長会議・町教育研究会・定例教育委員会・校舎長会議…どれもこれも「初めてのご挨拶」から始まります。私自身の顔や名前を覚えて頂ける良い機会だとありがたく思うのですが、どんなご挨拶をしたら良いか毎回迷っています。「こんな人が教育長になったんだな」となんとなく感じてもらえたらいいなと思いつつも「どのように届いたか」はあまり実感がありません。もし良かったら、気軽に感想をお聞かせください！
真摯に・オープンに・ユーモアを持って、を大切に参りますのでよろしくお願いいたします。

4月に取り組んだこと

「まあまあ焦らずに。」と言われることも多いのですが、4月に「教育長の仕事」としてできたことを整理しておきます。

町教育研究会で話をさせていただきました

4月16日に幼小中の全教職員のみなさんが学ぶ「町教育研究会」で、お時間をいただいて「あたらしい警梯の教育を進めるにあたって大事にしてほしいこと」をお伝えさせていただきました。ただ話すだけではおもしろくないのと、実感として伝わらないことも多いので、アクティビティもしていただきつつ、「子どもも大人もみんな違う」ということ、「違うからこそ協力したり話し合ったりすることに価値がある」ということ。そして、だからこそ「子どもの声をちゃんと聞いてほしい」ということをお伝えいたしました。

町教研終了後、「やる気が出てきました！」という声もいただきましたが、同時に「もっと具体的に何をすることがあるのかを聞きたかった」という声もいただきました。ですので今後は、「理念」の部分と、理念を体現するための「具体案」の両輪について考えていただけるよう伝え方を工夫したいと思います。(そのひとつとして、この「みんなのこと」を始めようと思いましたので、お暇な時にお読みいただければ幸いです。)あと…本当は45分間の持ち時間だったところを、少しオーバーしてしまい申し訳ございませんでした…。気をつけます！

幼稚園・小中学校に伺いました

最低でも毎月1回は、幼小中全ての学校の見学に伺いたいと考えています。4月はちょっとバタバタしてしまいましたが、全学校園に数回ずつ伺うことができました。と言っても、ブラブラ見学させてもらったり、校長先生とおしゃべりさせていただいたり、先生方と立ち話をしたり、何をするわけでもない見学でしたので、ちょっと不安に思われた教職員の方々もいらっしゃったかもしれません。何かをチェックしたりするためではなく、「現場で起きていること」を感じることができなければ、今どんなサポートが現場に必要なのか？が見えなくなってしまうと考えての見学ですので、子どもも大人も、自然体な様子を体感させていただければと思っています。よろしくお願いいたします。



学校選択制について説明いたしました

4月26日の幼稚園と小学校の授業参観日に20分ほどお時間をいただいて、保護者のみなさまに「学校選択制に向けてこれから起きること」についてご説明と質疑の時間を頂戴いたしました。3月に保護者のみなさまからいただいた「ご質問やご意見」をもとに資料を配布させていただきました。3月に保護者のみなさまからいただいた「ご質問やご意見」をもとに資料を配布させていただきました。3月に保護者のみなさまからいただいた「ご質問やご意見」をもとに資料を配布させていただきました。

でも…やっぱり20分では足りないな…。というのが私の感想です。希望される方々のみでも構いませんので、各学校に伺って、じっくり「なぜ」と「どうやって」について意見交換も含めて行える時間が取れたらと思っていますので、その際にはどうぞよろしくお願いいたします。



春の交通安全週間へのご協力ありがとうございました

新年度が始まってすぐの交通安全週間では地域の方々に見守られながらの登校となりました。励ましのお声がけをいただいたり、一緒におしゃべりしながら登校できることで、子どもたちにとっても安心安全な時間となりました。ご協力ありがとうございました！



スポーツ少年団の結団式が行われました

4月5日に、スポーツ少年団の結団式が行われました。まだまだ肌寒い中でしたが、ユニフォームを着た子どもたちはまっすぐな顔でお話を聞いてくれました。中でも少年団代表の挨拶はとても堂々としていて素晴らしかったです。



今年も磐梯山慧日寺資料館が再オープンしました

4月10日に、磐梯山慧日寺資料館が再オープンしました。今年度も色々なイベントが開催される予定ですので、ぜひぜひお越しください。4月26日には、Bandai coffee も再オープンしました。磐梯の水での水出しコーヒーやトマトジャムソーダなど、楽しいメニューが増えましたので、お散歩がてら遊びに行ってみようと思っております！



地域学校協働活動に関する研修会を実施しました

4月30日、地域学校協働本部推進員向けに、宮崎県都農町で中学生の部活動として「まちづくり部」を運営している株式会社イツノマ社長の中川敬文さんに講話していただきました。参加者それぞれが中学生の放課後活動の充実に向けて何ができるかを考える時間になりました。今後の活動に活かされる予定です。



小中学校に教育プロジェクトマネージャーが配置されました



今年度から、0-15教育基本構想の実現に向けて、特色ある学校づくりを校長・教頭と共に推進する「教育プロジェクトマネージャーが、小中学校に配置されました。

中学校では、外館ゆき子さんが総合的学習の時間を主に担当し「地域探究」を推進します。第一小学校では、本川良さんがいくつかの授業も担当しながら学校づくりファシリテーターの役割も担います。第二小学校では、酒井浩一郎さんがいくつかの授業を担当しながら、今年度から新たに組み込む自由進度学習の伴走などの役割を担います。3名ともに「地域連携担当」となり、学校運営協議会や地域学校協働活動にも関わっていく予定です。今後も具体的な活動などをご紹介します。

「自然と共に生きる」って

年度末に大雪が降ったこともあり、桜の開花は昨年よりちょうど1週間程度遅くなりました。色々な地域で桜を楽しむことができましたが、磐梯町の桜は強風で「あっ」という間に散ってしまった印象です。磐梯山を毎日眺め、頂上にキツネが現れたことを確認し、雨が降れば、「今年は大雪だったし水がたくさんあっていいけどまだ時期が早いなあ。田植えまで待ってくれたらねえ。」などと会話する。そんなやりとりがあたりまえになってきて、ふと気がついたのは、これが「自然と共に生きている」ってことなんじゃないか？ということでした。私は東京生まれ東京育ちなので、毎日山が見える地域で暮らすことそのものを「豊か

だと感じます。東京にも桜はありますし、気持ちのよい公園はありますし、自然に触れることももちろんできますが、「自然と共に」と言うと、どうも「山奥で暮らす生活」みたいな極端なものを想像してしまいます。でも、磐梯町で1年暮らしてみても、町民のみなさんと四季折々の他愛のない会話を繰り返していくことで、あたりまえにそこに在ることが「共に生きる」ということなのかもしれないと感じられたのです。

そんな甘いもんじゃない、という声も聞こえて来そうですが、とりあえず一歩目ということで。あたりまえって、人によって違うから、それもまた面白がりたいです。